

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 26 年度 第 5 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 26 年 9 月 12 日 午後 6:40～午後 8:35
- 2.開催場所 日本大学経済学部本館 2 階中会議室 2
- 3.理事総数 17 名
- 4.出席者数 8 名（書面表決書 4 名）
出席者（佐藤文宏、山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、森川貞夫、小林均、黒田伸、
岩山海渡 敬称略）
書面表決書（吉村豊、鈴木良雄、前河洋一、比嘉正樹 敬称略）
オブザーバー（和田学 敬称略）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
 - 第 1 号議案 前回理事会（8 月 8 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等が
なかったので承認されたものとする旨報告があった。
 - 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として黒田伸氏と保原幸夫氏が選出された。
 - 第 3 号議案 2014 メルボルンマラソンについて
保原氏から 2 次募集の状況について報告があった。
募集締切まであと 2 週間ほどであるが、現時点での参加申込者は合計 62 名である。
観光局から貰う活動費は PR 活動にしか使えないという限定付きなので、渡航費等、その他
の活動費として使えるのは参加費の半額しかないという現在の収益構造では、昨年同様
100 名程度の参加申し込みが収益分岐点となる。したがって、今年は収益事業に関わる税金、
約 10 万円を除いても約 40 万円程度の赤字になる見込みである。
当面は内部留保金でカバーせざるを得ないので、了承願いたい。
 - 第 4 号議案 各種ランニング教室について
保原氏より各事業の状況について報告があった。
 - J S I E マラソン完走教室
参加者は毎回コアメンバーだけの 3～4 名で推移している。特に、水曜日は参加者なしの
ため中止になるケースが増えている。当面、下期は現状通り継続することにしたが、来年
度については実施方法を検討する必要がある。
 - 熟年ランニングスクール
9 月～11 月期も在籍者 11 名でスタートした。皆さん熱心で盛況である。

■浦安・美走塾

本年度の2回目は10月～12月の予定。前河先生の教え子である菅原、石川両氏に担当して貰うことになった。

第5号議案

JENESYS2.0「フィリピンマラソンチーム招聘」について

保原氏より最終日程の説明があり、役割分担等について確認した。

【9/16（火）PM：都内スポーツ関連施設見学】

オリエンテーション、JISSおよびナショナルトレーニングセンター見学には小林、保原の両氏が同行する。

【9/17（水）AM：マラソン選手による指導】

宇佐美氏の指導は岩山、保原の両氏がサポートする。その後、保原氏が東京マラソンコースの案内を行う。

【9/17（水）AM：市民ランナーとの交流】

都内観光を兼ねた「東京マラソンコース」見学後、ラフィネランニングスタイルで着替えをし、皇居を1周ランニングする。宇佐美、保原両氏の他、AVRC東京およびJSIEマラソン完走教室の有志が案内する。

その後、日大経済学部7号館の14階レセプションルームで交流会を実施する。

交流会には佐藤理事長、比嘉氏も合流する。

【9/18（木）～9/19（金）：学校交流】

山梨学院大学、山梨大学、都留文科大学との合同練習および交流会については、比嘉氏が山梨学院大学の上田監督、山梨大学の中村教授とスケジュール調整中。

この期間は比嘉、保原の両氏が同行する。

【9/20（土）：山中湖、河口湖、富士山観光&ラン】

観光スケジュールについてJICEの方でアレンジ中。

ホテルは森川氏の紹介で山中湖畔荘「ホテル清溪」を手配済み。

森川、保原の両氏が同行予定。

【9/21（日）：「巨峰の丘マラソン大会」体験】

佐藤理事長のご尽力で全員がレース体験あるいは運営体験をできることになった。

森川、保原の両氏が同行予定。

【9/22（月）：成果報告会】

神谷町のスタンダード会議室で行われるので、比嘉、保原の両氏が出席。

なお、11月開催の武道交流については日本体育大学が対応してくれることになったので、その旨をJICEに連絡した。

第6号議案

市民ランナー交流セミナー・国際交流駅伝について

保原氏より進捗状況について報告があった。

■第7回市民ランナー交流セミナー

比嘉氏に報告して貰う予定だったが、今回欠席なので次回に延期することになった。

■第5回国際交流駅伝

2月1日(日)の皇居開催でランネットおよびスポーツエントリーでの募集手続き中。

第7号議案 連携活動について

■アジアサッカー研究所

佐藤理事長より、当協会と共催で「第2回アジアサッカーキャリアセミナー」を9月10日(水)に日大経済学部で開催した旨、報告があった。

「アジアサッカーキャリアセミナー」の趣旨は日本とアジアの情報交流の活性化を図ることによって、双方のサッカービジネスを加速させること。

今回のサブタイトルは「アジアでサッカーの仕事をするには」で、「東南アジアのサッカー環境とビジネス」について斉藤氏から、「サッカー選手の海外キャリア」について川辺選手からプレゼンテーションがされた。

■NPO法人アクティブミドル国際協会

ボランティア・スタッフの栗原氏から11月9日(日)開催の「第4回国際大使館フレンドリーラン」について相談を受けた。当該大会は昨年、当協会会員の桜井さんからの依頼で宇佐美氏のNSVAがボランティア協力をした大会だったが、栗原氏にその情報は入っていなかった。

当該協会は毎月、各国大使館で交流イベントを開催しているとのことなので、随時情報を頂くことにした。

当協会との連携については理事長と相談するとのこと。

■鴻洋商事(株)和田学氏

昨年10月に完成した大連のスポーツ施設の有効活用という観点から、大連とのスポーツ交流について相談があった。

当協会としては、具体的な交流事業が企画できた時点で個別に検討することにした。

第8号議案 その他新規案件の具体化について
特に進捗はなかった。

第9号議案 その他

■次回理事会について


10月31日(金)の午後6時30分から理事会を行うことになった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時35分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成 26 年 9 月 12 日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 佐藤 文宏 

議事録署名人 黒田 伸 

議事録署名人 保原 幸夫 